新潟水辺の会 35 周年記念・水辺のシンポジウム 2022

いつでも楽しめる水辺＆リーダーを育てる！

～ラムサール湿地都市認証新潟市の水辺環境と担い手を考える～

新潟市には 16 の潟湖がある。その取組が評価され、日本で初めての、ラムサール湿地自治体認証の都市になる。
でも“世界の新潟市になる！”と言われてもまだピンと来ない。なぜか？ 市民にとって、潟は知っているが、眺めたり、潟に入ったりするような身近に感じる存在になっていない。

かつて潟湖は地域の暮らしの“里潟”で、水源や食材、あそび場、肥料さらに建材、鑑賞の対象だった。潟辺の住民は、いまでも「潟八景」が描かれた掛け軸を掛ける。潟文化が息づいている証拠で、それを語れる老師もまだ健在だ。
新潟に、“世界都市”になる機会が残されている！
その潟を、子ども達とともに再生・発展させたい！

日程： 12 月 3 日（土）
時間： Pm1：30～4：00
会場： 新大駅南キャンパスときめいと

先着 40 名

空芯菜収穫体験

空芯菜料理体験

浮島上陸体験

魚とり体験

カヌー体験

湖上ヨガ体験

潟ウォーク体験

環境貢献体験

◆トーク１部　新潟水辺の会の 35 年をふり返って

パネラー：大熊 孝／松野 直一／梶 瑤子／加藤 功
コーディネーター：森本 利

◆トーク２部　楽しめる水辺＆Jr リーダーを育てる！

パネラー：渋谷 毅／牛腸 昌克／井浦 春美／安田 幸弘／上杉 知之
ゲスト：畑 友教　コメンテーター：土方 幹夫　　コーディネーター：相楽 治

◆コメント　大熊　孝

新潟市がどうしてラムサール湿地都市認証に相応しいのか？
―都市の自然観の創造に向けて―

主催：**NPO 法人新潟水辺の会**　https://niigata-mizubenokai.org
★新潟大学駅南キャンパスときめいと(プラーカ１の２F)
★定員４０名：申し込み先着順（会場定員がコロナ禍で限定）
★問合せ＆申込み　info@niigata-mizubenokai.org
TEL：025-264-3191　※参加費無料

※この事業はセブン・イレブン記念財団の 2022 年助成
セキスイハウスマッチングプログラム 2022 年助成
を受けています。

セブン-イレブン記念財団

積水ハウス マッチングプログラム

12.3 水辺のシンポジウム 2022　プログラム

いつでも楽しめる水辺とリーダーを育てる！

～ラムサール湿地都市認証新潟市の水辺環境と担い手を考える～

進行：長谷川　隆　新潟水辺の会世話人・三潟守トラストリーダー

13：30　◆あいさつ　相楽　治　新潟水辺の会代表世話人　**★課題のある水辺環境は、空芯菜も人も育てる**

13：35　◆トークショー　**新潟水辺の会の 35 年をふり返って**

大熊　孝　新潟大学名誉教授・初代代表　**★里川、里潟の哲学的な見方を**

松野　直一　栗木川桜祭り実行委員・元新潟水辺の会世話人　**★栗ノ木川の住民として一言**

梶　瑤子　元東地区公民館長・新潟市中央区自治協議会委員・副代表　**★公民館のあり方に一石投じた**

加藤　功　新潟市内 16 潟の PR 映像編集者・副代表世話人　**★ドブ川からサケの大河へ、悠久の潟へ**

コーディネーター：森本　利　新潟市民活動支援センター副会長・新潟水辺の会事務局次長

14：15　◆休憩　～ラムサール湿地都市認証新潟市の潟湖映像：加藤功編集～

14：25　◆パネルトーク　**いつでも楽しめる水辺とリーダーを育てる！**

渋谷　毅　新潟市立万代高校端艇部監督・新潟県カヌー協会副理事長　**★地域カヌークラブを育てる**

牛腸　昌克　新潟市立上所小学校教師・潟の学校教育企画起案者　**★子どもの参加しやすい水辺機会を**

井浦　春美　(一社)にいがたヨガ協会代表・湖上ヨガ指導者　**★子どもたちに湖上の楽しさ体験を**

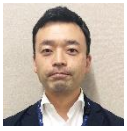
安田　幸弘　カナール de カヌープロジェクトリーダー・新潟水辺の会世話人　**★公園の水路をカヌー天国に**

上杉　知之　カナール de カヌープロジェクトリーダー・新潟水辺の会世話人　**★公園と潟をつなぐカヌー体験**

ゲスト　：畑　友教　新潟市観光推進課　教育旅行担当　**★2023 年体験教育旅行スタート**

コメンテーター：土方　幹夫　駿河台大学名誉教授・元日本海カヌー横断航海プロジェクト主宰者

★より質の高い体験とライセンス指導スタッフを



コーディネーター：相楽　治　新潟水辺の会代表・三潟守トラストサブリーダー

15：35　◆コメント　大熊　孝　新潟大学名誉教授・元新潟市潟環境研究所所長

新潟市がどうしてラムサール湿地都市認証に相応しいのか？

—都市の自然観の創造に向けて—

15：50　◆講　評とあいさつ　山岸　俊男　新潟水辺の会副代表